

令和5年度 事業報告

山梨県健康管理事業団は、県民の皆様の健康の維持・増進を図るため、健康増進法等関係法令に基づく健診・検査事業、公衆衛生に関する知識の普及・啓発事業を実施し、市町村等の顧客ニーズに応え、より効果的に事業を推進している。

また、公益財団法人として当初の設立目的と存在意義を踏まえ、精度の高い健診・検査事業を実施するとともに、県の健康増進計画「健やか山梨21」と連携し、健康長寿の延伸・健康格差の縮小の実現に努めた。

令和5年5月8日、新型コロナウイルス感染症の感染症法の位置づけが、2類相当から5類感染症に変更され、健診事業については、事業団でも厚生労働省・上部団体の通知・見解等を踏まえ、健診実施機関として適切な感染症対策を行い、安心・安全な受診環境を確保し、実施主体の協力のもと受診勧奨、健診事前予約制の導入を推奨し、受診者数の回復、受診率向上に務めた。

このような中、少子高齢化の進行や、人口の減少、人間ドック等の需要の高まり等の影響を受け、受診者減少となった。

健診システムにおいては、第4期特定健診・特定保健指導の改正に向けた、システム・帳票類の改修、人間ドック学会等に準じた判定区分を変更し、個人結果報告書・結果データの更新、健診会場におけるマイナ保険証による資格確認の準備等に取り組んだ。

普及啓発事業については、新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことにより、4年ぶりに講演会を開催するとともに、「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2023甲府」に参画し、県民のがん予防や生活習慣病予防等への関心を高め、健康に関する意識向上に寄与する事業を推進した。

県民の健康増進のためにも、健診・検査の受診者数の回復、受診率向上は大きな課題であり、厳しい事業環境下であっても、受診される県民の方々に満足度の高い健康診断の提供を目指し、職員の意識改革、公益財団法人として健診データを基に普及啓発活動に取り組んだ。

I 健診・検査事業

事業団は公益財団法人として、各自治体、医師会等と連携する中で、県民の健康管理及び健康増進を目指し、感染症法、学校保健安全法、健康増進法、労働安全衛生法及び高齢者の医療の確保に関する法律などに基づき、事業所従業員、地域住民及び児童・生徒等を対象に、定期健康診断の他、生活習慣予防健診、特定健診などを、出張健診として、県内各地に所在する市町村、事業所及び学校他を対象に総合的に実施するとともに県民から、一層信頼を得る機関として、より精度の高い健診・検査事業の推進に努めた。

1 特定健康診査・特定保健指導

(1) 特定健康診査

高齢者の医療確保に関する法律に基づく特定健診等を各医療保険者(市町村国保、被用者保険)及び広域連合を実施主体とする県下11市町村より委託を受け、40歳から74歳を対象とした特定健診 8,114人、75歳以上の後期高齢者の健診 3,592人、39歳以下の若年者の健診 613人合わせて12,319人の一般住民の健診を実施し、前年度と比較して360人減少した。

令和4年10月から、パートタイム・アルバイトとして働く方も、一定の条件を満たせば厚生年金保険・健康保険などの社会保険加入対象となったため、市町村での健診受診者数はより一層厳しい状況が続くと予想される。

メタボリックシンドローム判定結果の内訳は、基準該当1,412人(11.5%)、予備群該当972人(7.9%)、非該当8,859人(72.0%)、判定不能1,076人(8.7%)であった。

【特定健康診査等 ①メタボリック判定】

	市町村数	受診者数	メタボリック判定							
			基準該当		予備群該当		非該当		判定不能 (項目不足)	
令和元年度	11	13,815	1,614	11.68%	1,195	8.65%	10,005	72.42%	1,001	7.25%
令和2年度	11	9,852	1,134	11.51%	846	8.59%	6,904	70.08%	968	9.83%
令和3年度	11	12,869	1,578	12.26%	1,135	8.82%	9,226	71.69%	930	7.23%
令和4年度	11	12,679	1,480	11.67%	1,070	8.44%	9,132	72.02%	997	7.86%
令和5年度	11	12,319	1,412	11.46%	972	7.89%	8,859	71.91%	1,076	8.73%
比較増減		▲ 360	▲ 68	—	▲ 98	—	▲ 273	—	79	—

【特定健康診査等 ②階層化判定】

	市町村数	受診者数	階層化(保健指導レベル)判定							
			積極的支援		動機づけ支援		情報提供		判定不能 (項目不足)	
令和元年度	11	10,347	258	2.49%	806	7.79%	9,283	89.72%	0	0.00%
令和2年度	11	7,314	214	2.93%	558	7.63%	6,542	89.44%	0	0.00%
令和3年度	11	9,722	290	2.98%	717	7.38%	8,715	89.64%	0	0.00%
令和4年度	11	9,327	250	2.68%	652	6.99%	8,425	90.33%	0	0.00%
令和5年度	11	8,722	205	2.35%	578	6.63%	7,939	91.02%	0	0.00%
比較増減		▲ 605	▲ 45	—	▲ 74	—	▲ 486	—	0	—

(2) 特定保健指導

特定健診を実施した11市町村のうち5市町から特定保健指導を受託し、積極的支援22人
動機づけ支援37人の指導を実施した。

【特定保健指導実施状況】

	積極的支援					動機づけ支援				
	R01	R02	R03	R04	R05	R01	R02	R03	R04	R05
上野原市	7	7	6	9	2	45	49	52	39	24
都留市	10	3	11	15	9					
富士川町	10	11	6	3	7					
富士河口湖町	2	5	0	3	2	16	15	20	19	13
南部町	5	2	2	3	2					
合計	34	28	25	33	22	61	64	72	58	37

※ 人数は、初回面接終了者数を計上

特定保健指導の結果、最終評価終了者48人中、メタボ脱出者は1人(2.1%)であった。

【特定保健指導結果】

	積極的支援			動機づけ支援			合計		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
初回面接終了者	20	2	22	28	9	37	48	11	59
途中終了者	5	2	7	4	0	4	9	2	11
最終評価終了者	15	0	15	24	9	33	39	9	48
メタボ脱出者	0	0	0	1	0	1	1	0	1
内服開始者	2	0	2	3	0	3	5	0	5

※ メタボ脱出者：最終評価時、腹囲・BMIともメタボリックシンドローム判定基準未滿を達成した者

※ 内服開始者：最終評価終了者中、支援期間内に高血圧・糖尿病・脂質異常症の内服を開始した者

2 各種がん検診等

新型コロナウイルス感染症法上の位置づけが、令和5年5月8日から「5類」に移行したが、人口減少や人間ドック等の需要の高まりなどの影響を受け、受診率の向上は厳しい状況であった。

また、厚労省の対策型がん検診における、対象年齢、受診間隔等の見直しもはじまり、より一層厳しい状況が続くと予想される。

(1)胃がん検診

県下15市町村の住民4,345人、県職員、県教職員及び事業所職員等2,237人、合せて6,582人の検診を実施し、前年度と比較して750人減少した。

受診者のうち精密検査を要する者は493人、要精検率7.49%であった。

追跡調査の結果精密検査を受診した者は350人、精検受診率70.99%で、精密検査結果は、がん発見数4人(発見率0.061%)であった。

【胃がん検診実施状況】

(令和6年3月末 現在)

	市町村数	受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	がん発見数	がん発見率	
令和元年度	16	9,023	859	9.52%	638	74.27%	5	0.055%	
令和2年度	15	7,512	751	10.00%	501	66.71%	3	0.040%	
令和3年度	15	7,911	666	8.42%	478	71.77%	5	0.063%	
令和4年度	15	7,332	517	7.05%	376	72.73%	8	0.109%	
令和5年度	15	6,582	493	7.49%	350	70.99%	4	0.061%	
内 訳	市町村	15	4,345	365	8.40%	281	76.99%	4	0.092%
	職域等		2,237	128	5.72%	69	53.91%	0	0.000%
比較増減		▲ 750	▲ 24	—	▲ 26	—	▲ 4	—	

【精検結果内訳(がんを除く)】

(令和6年3月末 現在)

	ポリープ	胃潰瘍	十二指腸潰瘍	その他疾患	異常認めず
令和元年度	114	35	9	414	53
令和2年度	112	26	2	308	42
令和3年度	120	21	2	276	50
令和4年度	107	31	1	199	30
令和5年度	106	19	3	184	29

(2)肺がん検診

県下11市町村の住民12,511人、県職員、県教職員及び市町村教職員等3,517人、合せて16,028人の胸部X線検診を実施し、前年度と比較して711人減少した。

受診者のうち精密検査を要する者は228人、要精検率1.42%であった。

追跡調査の結果、精密検査を受診した者は197人、精検受診率86.40%で、精密検査結果は、がん発見数12人(発見率0.07%)であった。

また、喫煙者(喫煙指数600以上)等を対象とした喀痰細胞診は、住民、職域合わせて276人が受診し、精密検査を要する者は0名であった。

【胸部X線検診実施状況】

(令和6年3月末 現在)

	市町村数	受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	がん発見数	がん発見数	
令和元年度	11	18,017	178	0.99%	147	82.58%	7	0.039%	
令和2年度	11	15,410	126	0.82%	92	73.02%	6	0.039%	
令和3年度	11	16,845	140	0.83%	104	74.29%	5	0.030%	
令和4年度	11	16,739	120	0.72%	101	84.17%	4	0.024%	
令和5年度	11	16,028	228	1.42%	197	86.40%	12	0.075%	
内 訳	市町村	11	12,511	161	1.29%	136	84.47%	8	0.064%
	職域等		3,517	67	1.91%	61	91.04%	4	0.114%
比較増減		▲ 711	108	—	96	—	8	—	

【肺がん喀痰細胞診実施状況】

	市町村数	受診者数 (検体数)	判定不能 (検体不良)	異常認めず	要精検者数	精検受診者数	がん発見数	がん発見数
令和元年度	10	177	5	172	0	0	0	—
令和2年度	10	173	9	164	0	0	0	—
令和3年度	10	313	26	286	1	1	0	—
令和4年度	10	276	19	257	0	0	0	—
令和5年度	11	276	21	255	0	0	0	—
内 訳	市町村	11	125	5	120	0	0	—
	職域等		151	16	135	0	0	—
比較増減		0	2	▲ 2	0	0	0	—

(3)大腸がん検診

県下11市町村の住民10,323人、県職員、県教職員及び事業所職員等5,458人、合わせて15,781人の検診を実施し、前年度と比較して185人減少した。

受診者のうち精密検査を要する者は734人で要精検率4.65%であった。

追跡調査の結果、精密検査を受診した者は421人、精検受診率は57.36%で、精密検査結果の内訳では、がん発見数16人(発見率0.10%)であった。

【大腸がん検診実施状況】

(令和6年3月末 現在)

	市町村数	受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	がん発見数	がん発見率	
令和元年度	11	17,106	840	4.91%	474	56.43%	15	0.088%	
令和2年度	11	14,731	707	4.80%	354	50.07%	13	0.088%	
令和3年度	11	15,981	756	4.73%	413	54.63%	12	0.075%	
令和4年度	11	15,966	682	4.27%	376	55.13%	16	0.100%	
令和5年度	11	15,781	734	4.65%	421	57.36%	16	0.101%	
内訳	市町村	11	10,323	514	4.98%	352	68.48%	15	0.145%
	職域等		5,458	220	4.03%	69	31.36%	1	0.018%
比較増減			▲ 185	52	—	45	—	0	—

【精検結果内訳(がんを除く)】

(令和6年3月末 現在)

	大腸ポリープ	大腸憩室	痔核・裂肛	その他疾患	異常認めず
令和元年度	240	43	31	18	118
令和2年度	166	33	21	12	84
令和3年度	198	51	25	17	90
令和4年度	200	44	27	21	68
令和5年度	225	40	24	18	86

(4)乳がん検診

県下14市町村の住民7,552人、事業所職員等546人、合せて8,098人の検診を実施し、前年度と比較して86人減少した。受診者のうち無料クーポン対象者は143人であった。

受診者のうち、精密検査を要する者231人で要精検率2.85%であった。

追跡調査の結果、精密検査受診者は192人、精検受診率は83.12%で、精密検査結果は、がん発見数29人(発見率0.36%)であった。

検査方法の内訳は、マンモグラフィ検査のみ6,102人、乳腺超音波検査のみ1,978人、マンモグラフィ・超音波検査併用18人で、がん発見数29人の内訳は、マンモグラフィで23人、乳腺超音波検査6人、マンモグラフィ・超音波検査併用0人であった。

【乳がん検診実施状況】

(令和6年3月末 現在)

	市町村数	受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	がん発見数	がん発見率	
令和元年度	14	10,621	287	2.70%	244	85.02%	12	0.113%	
令和2年度	14	8,642	285	3.30%	230	80.70%	10	0.116%	
令和3年度	14	8,396	216	2.57%	183	84.72%	14	0.167%	
令和4年度	14	8,184	257	3.14%	226	87.94%	13	0.159%	
令和5年度	14	8,098	231	2.85%	192	83.12%	29	0.358%	
内訳	市町村	14	7,552	219	2.90%	185	84.47%	29	0.384%
	職域等		546	12	2.20%	7	58.33%	0	0.000%
比較増減			▲ 86	▲ 26	—	▲ 34	—	16	—

【精検結果内訳(がんを除く)】

(令和6年3月末 現在)

	乳腺症	線維線種	乳腺のう胞	その他	異常認めず
令和元年度	31	19	55	27	98
令和2年度	25	23	35	36	95
令和3年度	20	26	40	19	61
令和4年度	19	22	58	28	83
令和5年度	18	25	36	26	53

【検査方法内訳】

(令和6年3月末 現在)

	受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	がん発見数	がん発見率
マンモグラフィ	6,102	200	3.28%	165	82.50%	23	0.377%
乳腺超音波	1,978	30	1.52%	26	86.67%	6	0.303%
マンモ+超音波	18	1	5.56%	1	100.00%	0	0.000%

(5)子宮頸がん検診

子宮頸がん検診については、全国健康保険協会（協会けんぽ）加入事業所等の職員を対象として実施した。

受診者74人で、前年度と比較して30人減少した。精密検査を要する者は1人であった。

【子宮頸がん検診実施状況】

(令和6年3月末 現在)

	受診者数	要精検者数	要精検率	精検 受診者数	精検 受診率	がん 発見数	がん 発見率
令和元年度	122	0	0.00%	0	—	0	—
令和2年度	137	1	0.73%	1	100.00%	0	—
令和3年度	121	3	2.48%	1	33.33%	0	—
令和4年度	104	0	0.00%	0	—	0	—
令和5年度	74	1	1.35%	0	—	0	—
比較増減	▲ 30	1	—	0	—	0	—

(6)腹部超音波検診

上腹部臓器の肝臓、胆のう、膵臓、腎臓、脾臓を検査し、15市町村の住民15,975人、事業所職員等796人合せて16,771人の検診を実施し前年度と比較して202人減少した。

受診者のうち精密検査を要する者は417人で、要精検率2.49%であった。

追跡調査の結果、精密検査を受診した者は296人、精検受診率は70.98%であった。

精密検査の結果発見されたがんは、肝臓2人、腎臓1人の合計3人(発見率0.02%)であった。

【腹部超音波検診実施状況】

(令和6年3月末 現在)

	市町村 数	受診者数	要精検者数	要精検率	精検 受診者数	精検 受診率	
令和元年度	16	18,887	629	3.33%	434	69.00%	
令和2年度	15	13,926	503	3.61%	340	67.59%	
令和3年度	15	16,395	541	3.30%	396	73.20%	
令和4年度	15	16,973	490	2.89%	355	72.45%	
令和5年度	15	16,771	417	2.49%	296	70.98%	
内 訳	市町村	15	15,975	400	2.50%	288	72.00%
	職域等		796	17	2.14%	8	47.06%
比較増減		▲ 202	▲ 73	—	▲ 59	—	

【臓器別がん発見数】

(令和6年3月末 現在)

	肝臓	胆のう	腎臓	膵臓	その他	計	がん発見率
令和元年度	8	0	2	1	3	14	0.074%
令和2年度	2	1	2	1	0	6	0.043%
令和3年度	4	0	1	1	0	6	0.037%
令和4年度	6	2	4	0	2	14	0.082%
令和5年度	2	0	1	0	0	3	0.018%

【臓器別疾患数】

(令和6年3月末 現在)

	肝臓疾患	胆のう疾患	腎臓疾患	膵臓疾患	脾臓疾患	その他	異常認めず
令和元年度	94	62	37	116	0	36	53
令和2年度	76	60	53	78	2	10	41
令和3年度	88	71	35	111	1	28	42
令和4年度	81	45	33	104	2	19	34
令和5年度	60	54	27	79	1	25	30

(7)前立腺がん検診(血液PSA検査)

県下10市町村の住民3,146人、事業所職員等355人、合わせて3,501人実施し、前年度と比較して310人減少した。受診者のうち精密検査を要する者は186人で要精検率5.31%であった。

追跡調査の結果、精密検査を受診した者は128人、精検受診率は68.82%で、精密検査結果の内訳は、がん発見数14人(発見率0.40%)で、前立腺がん疑いの者42人であった。

【前立腺がん検診実施状況】

(令和6年3月末 現在)

	市町村数	受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	がん発見数	がん発見率	前立腺がん疑い	
令和元年度	10	3,952	211	5.34%	137	64.93%	9	0.228%	54	
令和2年度	10	3,071	165	5.37%	94	56.97%	10	0.326%	26	
令和3年度	10	3,616	225	6.22%	153	68.00%	8	0.221%	46	
令和4年度	10	3,811	237	6.22%	150	63.29%	18	0.472%	40	
令和5年度	10	3,501	186	5.31%	128	68.82%	14	0.400%	42	
内訳	市町村	10	3,146	171	5.44%	126	73.68%	14	0.445%	40
	職域等		355	15	4.23%	2	13.33%	0	0.000%	2
比較増減		▲ 310	▲ 51	—	▲ 22	—	▲ 4	—	2	

【精検結果内訳・がん以外】

(令和6年3月末 現在)

	前立腺肥大	その他	異常認めず
令和元年度	41	6	22
令和2年度	32	4	18
令和3年度	62	4	28
令和4年度	54	5	30
令和5年度	39	2	26

(8)結核検診

市町村住民、事業所職員及び高校・大学生等、合わせて36,747人の検診を実施し、前年度と比較して641人減少した。

受診者のうち精密検査を要する者は1,387人、要精検率3.77%であった。

追跡調査の結果、結核患者の発見はなかった。

【結核検診実施状況】

(令和6年3月末 現在)

	受診者数	要精検者数	要精検率	精検 受診者数	精検 受診率	結核 患者数	その他 疾患	異常認めず
令和元年度	39,473	1,513	3.83%	1,038	68.61%	0	735	303
令和2年度	35,794	1,350	3.77%	880	65.19%	0	605	275
令和3年度	37,757	1,733	4.59%	1,277	73.69%	0	920	357
令和4年度	37,388	1,350	3.61%	943	69.85%	0	586	357
令和5年度	36,747	1,387	3.77%	1,052	75.85%	0	713	339
比較増減	▲ 641	37	—	109	—	0	127	▲ 18

3 職域健診

労働安全衛生法及び学校保健安全法に基づき市町村職員・教職員、県職員・県教職員、大学(健康科学大学、県立大学、甲府看護専門学校等)、民間企業等を合わせて17,632人の健診を実施し、前年度と比較して117人増加した。

小規模事業所の受診機会を確保するため、各地域の公共施設等を利用し、検診車による出張健診を積極的に営業活動を行い、受診者確保に努めた。

【職域健診実施状況】

(令和6年3月末 現在)

	市町村 職員	市町村 教職員	県職員	県教委 職員	大学・ 専門学校	民間 企業等	合計
令和元年度	523	1,664	2,383	1,890	2,875	8,320	17,655
令和2年度	518	1,667	2,483	1,868	1,691	8,476	16,703
令和3年度	521	1,733	2,485	1,754	2,814	8,616	17,923
令和4年度	521	1,750	2,455	1,729	2,735	8,325	17,515
令和5年度	492	1,777	2,248	1,808	2,699	8,608	17,632
比較増減	▲ 29	27	▲ 207	79	▲ 36	283	117

4 学校保健安全法に基づく検診検査

(1)心臓検診

県立学校、市町村小・中学校等の児童、生徒の心電図検査8,895人を実施した。
前年度と比較して、心電図検査で241人減少した。
心電図検査の要精検者数は407人、要精検率4.58%であった。

【心電図・心音図検査実施状況】

(令和6年3月末 現在)

	心電図検査			心音図検査		
	受診者数	要精検者数	要精検率	受診者数	要精検者数	要精検率
令和元年度	8,844	617	6.98%	14	2	14.29%
令和2年度	8,507	1,268	14.91%	23	3	13.04%
令和3年度	8,182	379	4.63%	4	0	0.00%
令和4年度	9,136	411	4.50%	3	0	0.00%
令和5年度	8,895	407	4.58%	0	0	—
比較増減	▲ 241	▲ 4	—	▲ 3	0	—

(2)寄生虫卵検査

県立学校、市町村小学校の児童、保育園等の幼児、職員合わせて2,045人の検査を実施し、前年度と比較して100人減少した。
寄生虫卵検査の保卵者数は0人であった。

【寄生虫卵検査実施状況】

(令和6年3月末 現在)

	受検者数	保卵者	寄生虫卵内訳		保卵率
			蟻虫	その他	
令和元年度	5,124	2	2	0	0.039%
令和2年度	3,325	5	5	0	0.150%
令和3年度	2,573	2	2	0	0.078%
令和4年度	2,145	4	4	0	0.186%
令和5年度	2,045	0	0	0	0.000%
比較増減	▲ 100	▲ 4	▲ 4	0	—

(3)尿検査

県立学校、市町村小・中学校等の児童、生徒及び保育園の幼児等41,291人の検査を実施した。前年度と比較して1,450人減少した。

1次検査の陽性者1,226人(陽性率2.97%)のうち、2次検査を1,058人実施し、陽性者は257人(陽性率24.29%)であった。

【尿検査実施状況】

(令和6年3月末 現在)

	1次検査			2次検査		
	受診者数	陽性者数	陽性率	受診者数	陽性者数	陽性率
令和元年度	41,695	1,049	2.52%	930	190	20.43%
令和2年度	40,148	1,041	2.59%	898	206	22.94%
令和3年度	43,729	1,440	3.29%	1,301	331	25.44%
令和4年度	42,741	1,301	3.04%	1,139	201	17.65%
令和5年度	41,291	1,226	2.97%	1,058	257	24.29%
比較増減	▲ 1,450	▲ 75	—	▲ 81	56	—

	1次検査 陽性者内訳				2次検査 陽性者内訳			
	糖	蛋白	潜血	蛋白・潜血	糖	蛋白	潜血	蛋白・潜血
令和元年度	33	246	729	44	13	36	131	12
令和2年度	73	285	672	35	22	27	143	16
令和3年度	84	320	988	49	18	54	243	17
令和4年度	87	318	856	45	18	35	143	7
令和5年度	125	283	771	55	30	28	187	16

(4)血液貧血検査

1村の中学校生徒27人の検査を実施し、前年度と比較して4人減少した。検査の結果、要精検者は0人であった。

【貧血検査実施状況】

(令和6年3月末 現在)

	受診者数	軽度異常者	軽度異常率	要精検者数	要精検率
令和元年度	21	1	4.76%	0	0.00%
令和2年度	28	0	0.00%	1	3.57%
令和3年度	41	1	2.44%	0	0.00%
令和4年度	31	0	0.00%	1	3.23%
令和5年度	27	1	3.70%	0	0.00%
比較増減	▲ 4	1	—	▲ 1	—

II がん対策

「がん」は昭和58年以降、山梨県の死亡原因の第1位となり全死亡者の3分の1を占めており、日本人の2人に1人ががんに罹り3人に1人ががんで死亡すると言われている。県は、平成24年4月から「山梨県がん対策推進条例」を施行し、「がん」の総合的な対策を推進している。これに呼応して、健康管理事業団は県からの委託を受け「がん患者サポートセンター」の運営のほか、さまざまながん対策を行っている。

1 がん相談

「がん患者サポートセンター」は医師の面接（要予約・不定期）や毎週火曜日に実施している保健師、ピア・サポーターの面接及び電話による相談、就労に関する社労士（毎月第3火曜日）による相談等がん患者やその家族が抱える様々な相談に対応するべく窓口を設け、相談者の不安や悩みの解消に努めた。

令和5年度はがん患者・家族の交流場としてオンラインによる「がんサロン」を4回、イベントにおいて「出張がんサロン」を2回開催し、参加者による意見交換を行った。

医師相談	0	件
保健師相談	18	件
社労士相談	1	件
ピア・サポーター相談	12	件

2 リレー・フォー・ライフ・ジャパン2023甲府

8月25日（金）午後4時～8月26日（土）午前11時まで山梨県立大学池田キャンパスにおいて、夜越えのリレーウォーク等によるチャリティーイベントを3年ぶりに新型コロナウイルス感染防止対策を講ずるなかで入場制限を設けず、第7回目を県立大学と共催で開催した。

開催経費を除いた募金、広告料等は全額（公財）日本対がん協会に寄付され、寄付金は「がん患者や家族の支援」とがん新薬開発等の研究助成、若手医師の育成、がん検診率向上のための啓発活動等「がん征圧」のために使われる。

- 主催 リレー・フォー・ライフ・ジャパン2023甲府実行委員会
公益財団法人日本対がん協会
- 参加者 450名
- 募金額 1,006,191円

3 受診率向上のための普及啓発活動

- がん征圧月間街頭キャンペーン
9月12日（火） 甲府駅南口周辺 参加者スタッフ 10名
- 県民の日記念行事
11月19日（日） 小瀬スポーツ公園 参加者スタッフ 7名

III 普及啓発活動

1 がん征圧月間のがん予防知識普及啓発

例年全国的に行われる9月のがん征圧月間行事として、がん予防に関する知識の普及啓発を図るラジオCM放送と新聞広告の掲載を行った。

新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことを受け、感染防止を徹底し9月12日に甲府駅南口周辺において、県、がん患者サポートセンターで相談にあたっているがん経験者等の協力のもと、がん検診啓発のチラシ付フィルターコーヒーを配布し、がん征圧月間の周知とがん検診受診に向けた街頭キャンペーンを4年ぶりに行った。

そのほか、県下全市町村、医療機関、関係機関等にごがん予防知識啓発用ポスター及び禁煙ポスターを配布した。

2 結核予防街頭キャンペーンの実施

結核予防週間（9月24日～30日）中に、全国一斉に展開される結核予防運動キャンペーンに併せ、本県においても県民の結核への関心を高めるとともに、結核予防に関する知識の普及啓発を図るため、9月26日に、JR甲府駅南口周辺において、県及び婦人団体の協力のもと、結核予防普及啓発資材及びカットバン付「STOP結核！」のロゴ入りポケットティッシュの配布による結核予防街頭キャンペーンを実施した。

3 講演会の開催

「歩いて伸ばそう健康寿命」

をテーマに フィットネスアドバイザー 依田武雄 先生による講演会を開催した。

「歩くこと」と「健康」の関係性について理解を深めるとともに、健康な日常生活を送るための「歩くこと」の効用について考え、健康寿命の延伸を目指す機会とした。

3月12日（火） 山梨県立図書館 2階 多目的ホール
出席者 40名 （感染防止のため、人数を制限して実施）

4 各種イベントへの参加

県や関係機関が主催するイベントに積極的に参加し、簡易健康診断、結核・生活習慣病予防などに関するパネル展示及び各種パンフレットの配布などを実施し、県民の健康づくりに対する意識の高揚に努めるとともに、事業団のPRを行った。

令和5年11月19日（日）

県主催「第36回県民の日記念行事」

於 小瀬スポーツ公園

- ピア・サポーターによる「がんサロン」の実施
- 乳がん視触診モデル体験
- 骨密度検査の実施
- 各種啓発資材等の配布

5 ホームページの活用

ホームページを活用し、事業団組織及び経営理念、事業案内による検診事業全般の内容紹介、財務諸表など広く県民に情報発信し、事業団をPRするとともに、各種がん検診、生活習慣病予防の正しい知識の普及啓発に努めた。

6 健康教育用資料の貸出し

がん・結核予防・生活習慣病予防ビデオ、パネル等を健康教育用資料として、市町村並びに関係各機関へ配布、貸出しを行い、がん・結核予防・生活習慣病予防に対する認識と検診の重要性について普及啓発を行った。

7 その他広報資料の配布

事業団広報誌「すこやかだより」を発行するとともに、結核予防会発行の「複十字」「健康の輪」、日本対がん協会発行の「対がん協会報」等を広報資料として市町村及び各関係機関等へ配布し、健康に関する知識の普及啓発に努めた。

IV 研修事業

- 1 当事業団は(公財)結核予防会、(公財)日本対がん協会、(公財)予防医学事業中央会のそれぞれの山梨県支部である。
- 各検診事業の充実を図るため、当該3団体が主催する研修会、協議会等に職員を参加させた。

名 称	開催月日	参加人数
結核予防会		
令和5年度結核予防会関東甲信越支部ブロック会議 [神奈川県]	11月10日	1 人
JATA災害時支援協力者研修	12月6日	1 人
令和5年度第2回複十字シール運動担当者会議	12月15日	1 人
令和5年度結核予防会支部事務局長研修会・事務連絡会議	1月23日	1 人
第28回結核予防関係婦人団体中央講習会	2月7日～2月8日	2 人
第75回結核予防全国大会・支部長会議 [東京都]	3月15日	1 人
日本対がん協会		
2023年度全国事務局長会議	7月14日	1 人
2023年度がん征圧全国大会 [山口県]	9月7日～8日	1 人
令和5年度日本対がん協会関東甲信越支部連絡協議会 [茨城県]	11月17日	2 人
予防医学事業中央会		
全国運営会議 (オンライン)	7月6日	1 人
令和5年度生化学研修会	7月27日～28日	1 人
第68回予防医学事業推進全国大会 [島根県]	10月26日～27日	1 人
令和5年度予防医学事業推進関東甲信越地区会議[長野県]	12月7日	4 人
第57回全国予防医学技術研究会	3月7日～8日	2 人
令和5年度全国業務研修会 [宮崎県]	2月15日～16日	2 人

- 2 各種検診の高度化、多様化に対応するため、各関係団体等が主催する各種学会、研修会等に職員を参加させた。

名 称	開催月日	参加人数
<健診部・検査課>		
第64回日本臨床細胞学会（春期大会）（オンライン）	6月16日～22日	2 人
第29回乳房超音波技術更新講習会	9月9日	1 人
JACLaS EXPO 2023	10月6日	2 人
日本超音波医学会 第35回関東甲信越地方会学術集会	10月14日～15日	1 人
超音波スクリーニング研修講演会（オンライン）	12月25日～26日	1 人
日本臨床検査精度管理調査報告会	3月8日	1 人
第32回乳房超音波技術更新講習会	3月9日	1 人
肺がん検診従事者講習会	3月14日	2 人
<健診部・放射線課>		
第20回日本乳癌学会中部地方会	9月2日～3日	1 人
第82回日本消化器がん検診学会甲信越支部地方会	9月23日～24日	1 人
肺がん検診従事者講習会	3月14日	3 人

- 3 県内10検診機関等で構成する各検診機関の情報共有・情報交換を目的とした「検診実施機関情報交換会」が令和6年1月12日に山梨県厚生連健康管理センターに於いて開催され第4期特定健診・特定保健指導への対応について、事業のDX化への取り組みについて等の議題について意見が交わされた。

V 会議の開催

1 理事会・評議員会

(1) 令和5年6月5日 第1回「理事会」 於 山梨県医師会1F多目的エリア

令和4年度事業報告や収支決算報告、評議員の辞任及び選任につきその候補者、理事の辞任及び選任につきその候補者、監事の辞任及び選任につきその候補者、甲南健康福祉協会との合併、施設整備の対応、令和5年度定時評議員会の開催について審議が行われ、可決承認された。

(2) 令和5年6月20日 第1回「評議員会」 於 山梨県医師会1F多目的エリア

令和4年度事業報告や収支決算報告、評議員の辞任及び選任、理事の辞任及び選任、監事の辞任及び選任、甲南健康福祉協会との合併について審議が行われ、可決承認された。

(3) 令和5年6月20日 第2回「理事会」 (決議省略)

役員を選定について可決承認された。

(4) 令和5年8月24日 第3回「理事会」 (決議省略)

評議員の辞任及び選任につきその候補者や理事の選任につきその候補者について可決承認された。

(5) 令和5年9月14日 第2回「評議員会」 (決議省略)

評議員の選任や理事の選任について可決承認された。

(6) 令和5年10月12日 第4回「理事会」 於 山梨県医師会3F会議室

役員を選定や準職員就業規則の改正、パートタイマー就業規則の改正について審議が行われ可決承認された。

(7) 令和6年3月21日 第5回「理事会」 於 山梨県医師会3F会議室

令和6年度主要な取り組みや事業計画(案)、収支予算(案)、評議員の辞任及び選任につきその候補者、事務局長の任命、理事の辞任及び選任につきその候補者、評議員会書面決議の承認について審議が行われ可決承認された。

2 経営評価委員会

事業団の自主的な運営体制の確立を目的とし、今後の経営状況や経営強化の実施状況について適切な評価を行うため、外部の経営専門家として医師、税理士等3名を構成メンバーとした経営評価委員会は、感染防止のため中止とした。

VI 救急医療情報センター運営業務

当センターは、平成元年4月1日から、全県ネットワークの医療情報システムの開始に伴い、県から同システムの業務委託を受けて、医師会をはじめ、医療機関並びに各市町村などの協力を得ながら、24時間体制で、県民からの医療機関及び当番医の照会に対し、適切な情報提供に努めている。

令和5年度の救急案内件数は、19,642件で、前年度と比較すると3,572件増加した。新型コロナウイルス感染症が5類になったことを受け、人々の移動が活発になったことや冬期にインフルエンザが流行したことを背景に大幅な感染症患者数の増加がみられた。

また、令和5年10月から県が設置した救急車要請について相談する#7119の運用に伴い県民からの医療機関の照会も増加した。

1 業務内容

- (1) 情報の収集業務 (医療機関に設置された端末装置による応需情報の収集)
- (2) 情報の提供業務 (患者の症状、発生場所に応じた適切な医療機関の情報提供)
- (3) 各種統計の作成業務

2 年度別案内件数

年度	H元	H02	H03	H04	H05	H06	H07	H08	H09	H10	H11	
件数	2,561	3,693	4,446	4,618	5,405	5,905	6,358	7,585	7,133	8,186	9,465	
H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	
11,292	12,940	12,267	12,900	13,844	14,905	15,384	15,109	16,145	21,254	19,368	18,917	
H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R02	R03	R04	R05	合計
19,333	18,642	19,687	19,656	19,334	18,589	18,279	17,944	12,230	14,231	16,070	19,642	463,317

3 案内状況

種別		令和4年度	令和5年度
救急医療情報センター案内件数		16,070	19,642
受付時間別案内件数	深夜(0時～8時)	2,004	2,465
	日中(8時～18時)	8,170	10,672
	準夜(18時～24時)	5,896	6,505
診療科目別案内件数	内科	6,469	9,285
	小児科	1,806	2,281
	外科	870	1,034
	整形外科	2,443	2,339
	眼科	612	598
	耳鼻咽喉科	719	852
	歯科	607	550
	脳神経外科	888	902
	皮膚科	690	749
	産婦人科	97	97
	泌尿器科	223	260
	精神神経科	53	42
	その他	593	653